

長野モデル個別対策一覧

テーマ名	プロジェクト名	目 標
1 信州らしさを極めてゆく中で見えてくる脱温暖化社会	(1) 地場産再生可能エネルギーの活用による削減	県内全ての小中学校、高等学校に10kW以上の太陽光発電を導入する
		県内のすべての小中学校・高等学校の暖房にペレットストーブもしくはペレットボイラーを導入する
	(2) 地場産再生可能資源の活用による削減	県産材利用住宅の普及、ガードレールへの県産材使用等、県産材を積極的に使用する
		県内すべての小中学校・高等学校の机・椅子を県産材木製のものとする 中水利用を積極的に奨励する事によるCO2削減を図る
2 ライフ・スタイルの転換を促す新しいシステム創り	(1) 自動車中心の交通手段からの転換による削減	マイカー通勤を市部で50%、郡部で25%削減する
		公共交通機関や、自転車を利用しやすい交通体系を創造する
		観光地へのマイカーの流入を抑制する
	(2) 省エネルギー施策による削減	県内の全てのコンビニエンスストア、郊外型大型店舗の営業時間を午前6時から午後11時以内とする
		県内の飲料自動販売機設置台数を半減する(2002年比)
		県内の水道凍結防止対策をエネルギー非使用のものとする
		県内のすべての信号機の電球を発光ダイオードに変更する
(3) 経済的手法の導入による削減	長野県独自の環境税を導入するとともに、削減活動には経済的支援を行う	
3 削減こそ企業益・地球市民益との認識にたった産業活動	(1) 産業界の自主計画の強化と排出量の把握等による6%削減	企業の削減目標達成計画策定や温室効果ガス排出量報告・公表制度の確立などにより、産業部門の温室効果ガスの排出量を削減する
4 県全体で脱温暖化施策に取り組み、確実な実施を推進するための体制	(1) 県及び市町村に部局横断的な温暖化対策専門の窓口を設置等	県及び市町村に部局横断的な温暖化対策専門の窓口を設置し、各種施策を主導的に推進する
		特別高圧契約をしている県庁舎や大型の自治体施設において、「グリーン電力入札」を実施する。
	(2) 自治体などの全ての事業について財政面だけでなく温暖化防止など環境面からのチェックを実施	温室効果ガス排出のアセスメントや、排出抑制策のコンサルタントの普及を図る 公共建築物等について、建物自体及び使用に当たっての温室効果ガス削減計画及び実施結果の公表
(3) 地球環境の未来を洞察し、新しい社会を構想する力を培う 環境教育・環境学習の推進	小中、高等学校において環境教育を必須とし、そのための環境教育リーダーを育成する	
	官学民の協力により、公民館などでの環境学習を推進する	